

自動車用ユニット開発におけるTRIZ適用事例

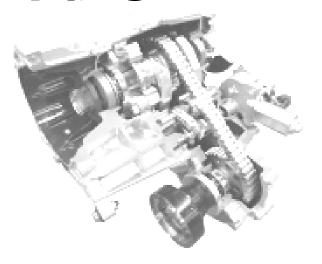


株式会社ユニバンス 商品開発部 土屋 翔





- ·会社概要
- ・開発ビジョン
- ·TRIZ取組み背景
- ・取り組み事例①
- ・取り組み事例2
- ・まとめ





会社概要



創業: 1937年

資本金: 35億円

株式: 東証2部上場

主要株主:

鈴木 一和雄 10.88%スズキ株式会社 8.28%大同特殊鋼株式会社 8.12%

本社所在地: 静岡県湖西市

海外拠点:

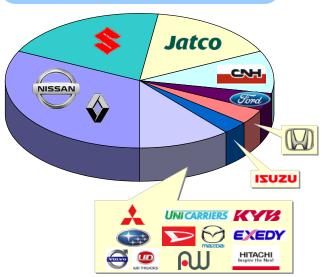
UNIVANCE INC.(USA)
PT.UNIVANCE INDONESIA
UNIVANCE(Thailand)Co..Ltd.

従業員: 2,328名(2014年3月時点)

主要製品:

マニュアルトランスミッショントランスファー EV・HEV用ギヤボックス 農機・産機・建機用ユニット 自動車用機能部品

顧客別売上高比率



売上高推移(連結)





ユニバンス沿革





パートタイム トランスファー





ハイブリッド トラック用

ギヤボックス

フルタイム トランスファー

FF車用-4WD トランスファー



農業トラクター用 大型トランスミッション

トランスファー(開発・生産)



航空機部品

(a) 570 486 ±17 □



ミシン部品

>> ハ . 立7 口

パワートレイン部品

トランスミッション(開発・生産) マニュアルトランスミッション(生産)

	机公	機能	90	ミンン部品				日數	即即即	i						
	取引閉	見始		日産	スズキ	UDトラ	ックス すゞ			ユニキャ! クボタ	ア 富 : KYB	士重 CNH社		ハツ マツダ 三菱	Buhler	
	37	40		50		60	•		70		80		90	00	10	
-	(現ユニバンス)を創業名古屋市に富士鉄工所		湖西市に工場を移転	金属高周波焼入の共同開発静岡大学工学部と自動車用部品取引開始		(アイエス精機)を分社富士鉄工所から鈴木鉄工所	東証2部に上場	工場建設 湖西市古見に工作機械専門	部品の機械加工開始・中型トラック用T/M、T/F	中型トラック用T/M組立開始農業機械部品の取引開始	RV用T/F生産開始 生産開始	T/Mを生産開始大型トラクター用パワーシフト	小型トラック用 T/M生産開始 い型トラック用 T/M生産開始 ル型トラック(LSD)販売開始 インドネシア工場設立 に変更 に変更 に変更	合併しユニバンスとなる	HEV用ギヤボックス生産開始 タイ工場設立	

白 新 末 却 口

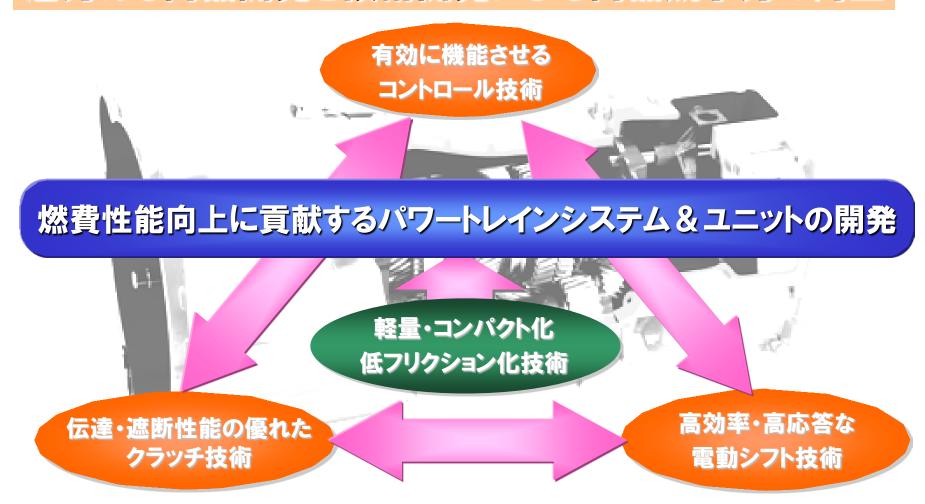
会社概要







魅力ある商品開発と技術開発による商品競争力の向上



TRIZ取組み背景



魅力ある、且つ競争力のある商品を世に出すためには、

「大幅なコストダウン」

「自社新技術の確立により、技術的先行性と技術競争力の向上」

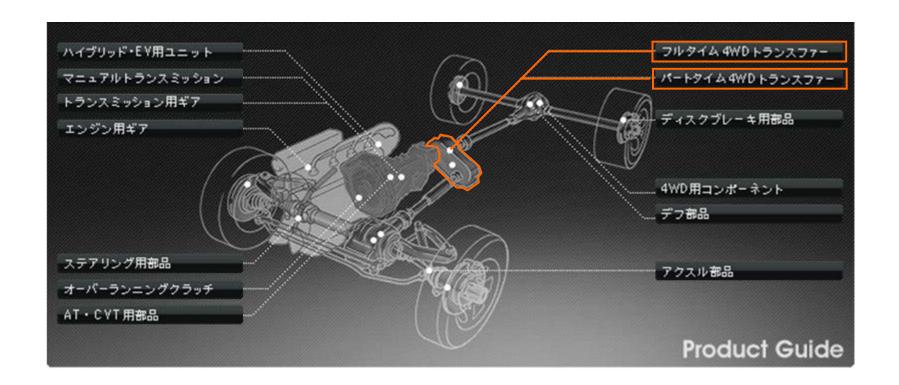
が必須である。

TRIZを習得し、課題解決方法を水平展開し 技術開発課題・商品開発課題のスピードアップを図る。



「フリクション低減」

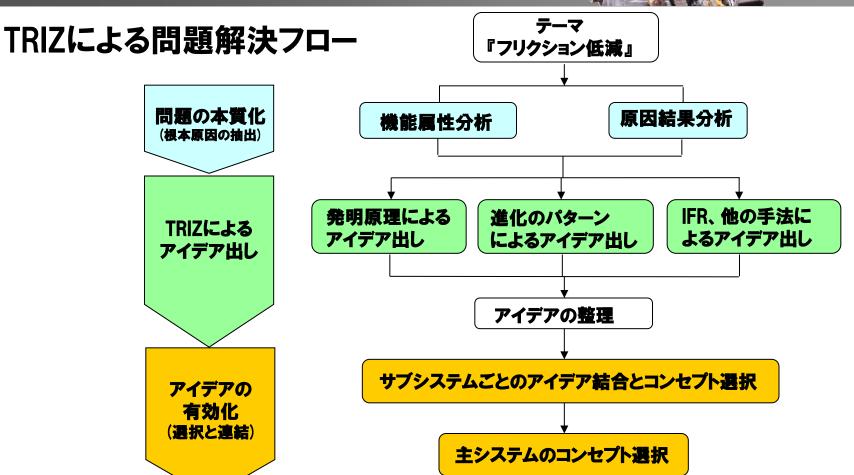
・2013年度はコンサルティングを通して、弊社主力製品であるトランスファーユニット のフリクション低減について取り組みを実施。



システムの

絶対評価





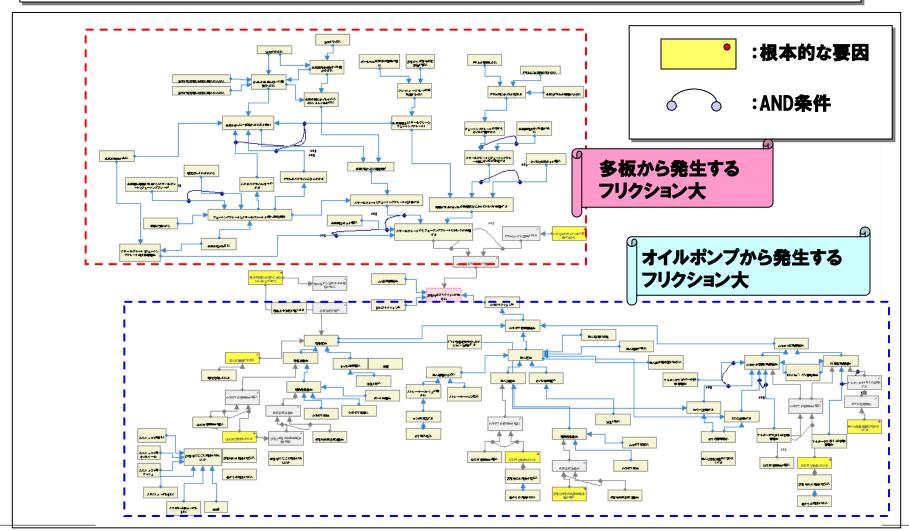
1年後、2~3年後、5年後の商品コンセプト選定

最終システムコンセプトの絶対評価



原因結果分析

目的:問題を起こしている要因を、原因と結果の関係で分析し、根本的な要因を明確化する。



リセット(R)



生活場面からのアイデア

吐出口を増やす

吸入口を増やす

時間でO/Pを止める

SFTが吸引する 時間でSFTの回転を止める 吸入後のポート形状を変更する

潤滑油を中で蒸発させる

潤滑油の流れを整流させる

潤滑油を垂れ流しにする

潤滑油をリークさせる

吐出口を増やす

吸入口を紛わす

吸入後のポート形状を変更する

吐出口を大きくする / SFT外径を小さくする

潤滑油の流れを整流する O/Pギアの回転数を一定にする

SFTに入れず潤滑油を垂れ流しにする

圧力が一定以上になると吸わなくなる 圧力が一定以上になると吸わなくなる

吐出口を大きくする / SFT外径を小さくする 潤滑油をリークさせる



ソース制約:オフ

スクリュー面輸送

α粒子は滑り摩擦係数を減少させる

ころ軸受が局部応力を減少させる

エアジェットが紙シートを供給する

インサートによるレバーのずれ抵抗の軽減

○ シール環とブランジャ間の摩擦力の低減○ ジェットブリンタヘッドのバルブドライブの密閉○ ジョンソンーラーベック効果○ スクリュー効果

□ スペーサによるラック運動の抵抗の低減□ ダンパによる車輪ロックの『方止② チェーンコンベヤ

デフレクタによる車両の空気力学的抗力の

♪ トランスミッションシステム
 ☆ ドラムプロックのプレーキ効率の向上
 ☆ ドリルドライブ内における摩擦の低減
 ◆ ネット状の固律はガス流水の組織の強度を減少させる

≧ パイプガラスコーティングのき裂形方止とートパイプの熱伝達のウイック毛管半径への依存性≧ ピポットキャッチによる開鍵力の低減≧ ピポット軸によるタイヤ空気圧の調節

ゴレーキバンドによるブレーキドラムの急速制動ブラズマ電界は連絡的に電子を加速する

ブレートの(解4は、固体の圧力に影響する。リブレットを持つ安全力ミソリ

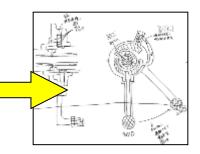
フレキシブル輸送路ブラシ支持体付輸送装置ブレーキギア

○ クラッチ摩擦面の滑りによる伝達トルクの制限○ コンデンサーは、流体圧力を測定する○ コーティング削は、フレッチング腐食の摩擦に影響を及。○ シャフトを継手に連絡する形状記憶プレート

ねじれ角を小さくするとファスナーナットの緩みが無くなる



アイデア出し手法 件数 発明原理からのアイデア 77件 進化のパターンからのアイデア 128件 科学的効果・知識検索からのアイデア 100件 究極の理想解からのアイデア 16件 SLPからのアイデア 14件







生活場面への置き換え

入口で人数制限する入口の大きさを狭くす

別の入口を設ける

チェックするスピードを上げる

入ってくる人を時間で区切る

壁が壊れて外に逃げ出す

チェックを止める

整理券を配る 入場者の条件を制限する 出口へ誘導する人を配置する チェックする時間帯を決める

案内板を設ける

別の出口を設ける

別の入口を設ける

バリケードを設置して一列に並ぶようにする

バリケードを設置して一列に並ぶようにする

出口でチェックする人を一定人数にする 入口で人数制限する

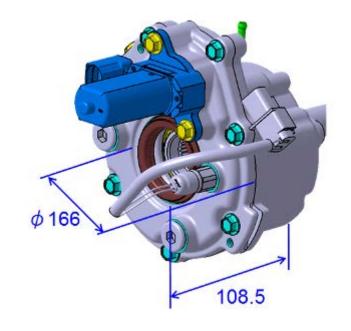
サブンステム案 期待効果 確認項目 効果 確認項目 効果 性認 アンル性護 アンル性護 アカナウ のでき います シッド の の Pを ・ 回転数に対する SFT 内の の と ・ アネサ ・ 一 京本 対 ・ 京 入 清 形状 ・ 済 入 清 形状 ・ 京 入 清 形状 ・ ア・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・フト・	製品	短期 短期
 穴あけ方 (の径 (からでき) からくでき (の形 (からでき) からが (でき) (の	Δ	短期 短期
O/E	Δ	短期 短期
2WD時に 0/P ・171-32%時の音の確		
1-2 (エアレーナー位置変更 (エアレーション起こす)	Δ	短期 中期
□ -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	Δ	中期 長期
システム絶対評価		期長期
調性]	期 中期
0/Pギ7の 接触面積を減らす 減らす 減らす 減しす 減しす 減しす 減しす 減した 減した 減した 減した 減した 減した 減した 減した	Δ	中期 中期
2. 2WD時のフリクション低減		
2WD時に多板を 9板引き 7リ/シュ化 のNm 滅 0Nm に発性 0 × 2WD時ユニタ ・ 2WD→4WD時にうまく ・ 2WD→4WD時にうまく ・ 2WD→4WD時にうまく ・ 2を替し ・ ・ 心を性 ・ 心を性	Δ	長期 長期
2-2 プルートの形状変更	Δ	中期 長期



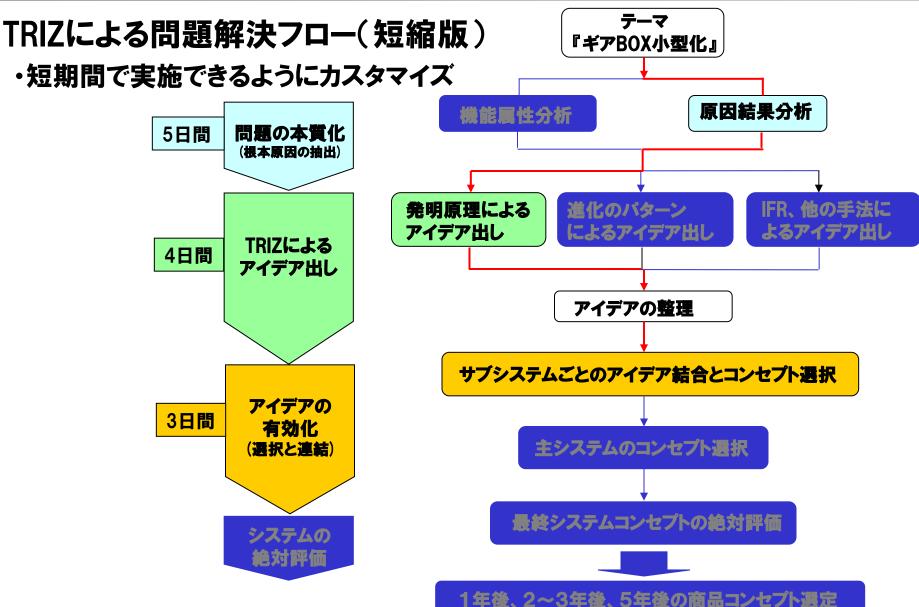
「小型化」

- <'14年度 TRIZ取り組み>
 - ・社内に広めていくため、他の社員も含めて新たに実施
 - ・短期間で成果を出す
- <取り組みテーマ>
 - ・ギアBOXの小型化

目標「外径 o 125mm×全長108.5mm」

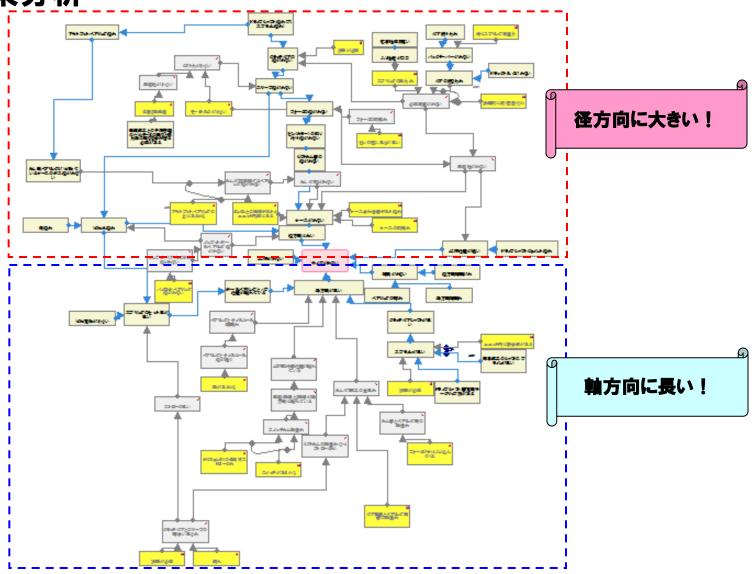








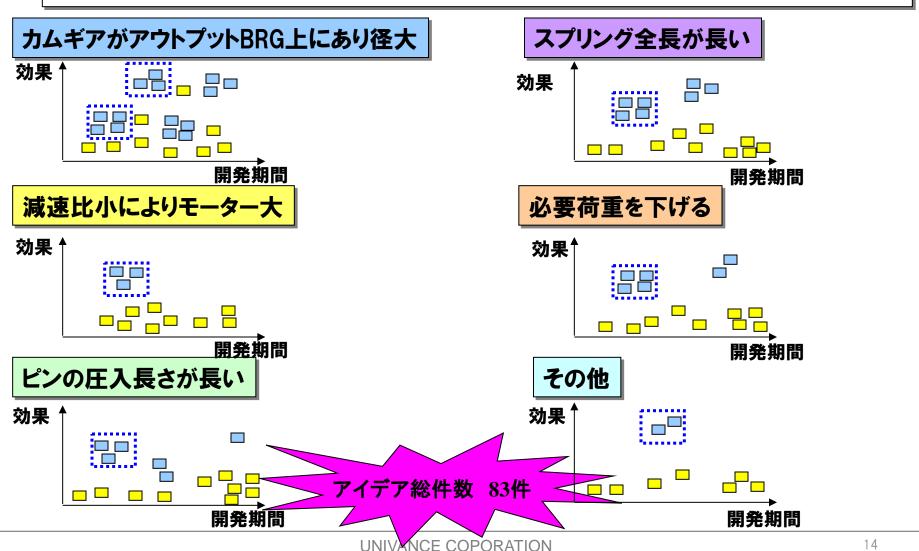
原因結果分析





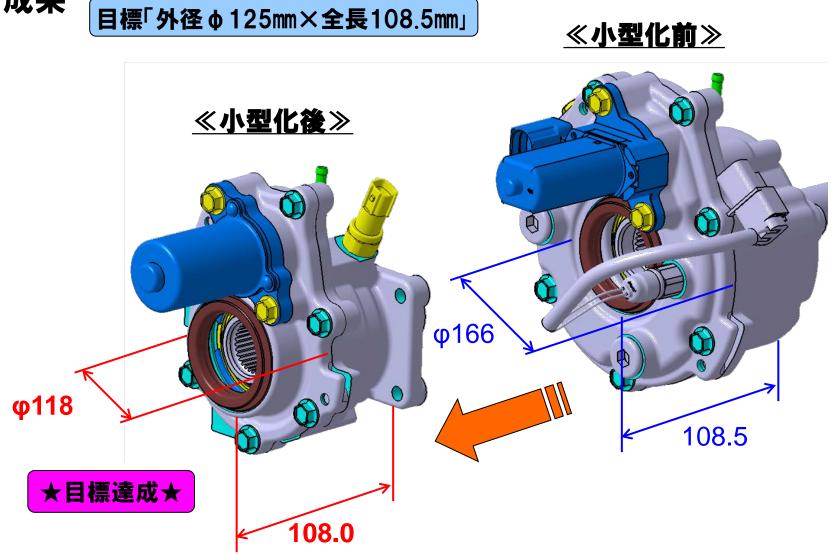
アイデア選択と結合

案を根本原因別に「開発期間-効果表」に貼り、短納期・高効果なアイデアを選定した





成果



まとめ



【感想】

- ・根本原因を出す事で解決すべき課題が明確になり有効に感じる。
- ・短縮化により日常業務に支障をきたすことなくTRIZへの取り組みができた
- ・いくつかのプロセスを経ていく為、ある程度の時間を掛ける必要があり、フルで やればより多いアイデアが出ると感じた。 (今回は時間が短いと感じた)
- ・他分野の特許などを参考にすることで新しいアイデアが生まれる。
- ・アイデア出しの時に自分の知識だけでなく、発明原理、特許情報等を参考にできるので新しい発想が浮かびやすい。
- ・今後も繰り返し実施していくことで、時間を掛けずにより多くのアイディアを 出せるようになれば開発スピードも上がっていくと思う。

16



・株式会社アイデア

シニアコンサルタント 井坂様

シニアコンサルタント 片桐様



ご清聴ありがとうございました。